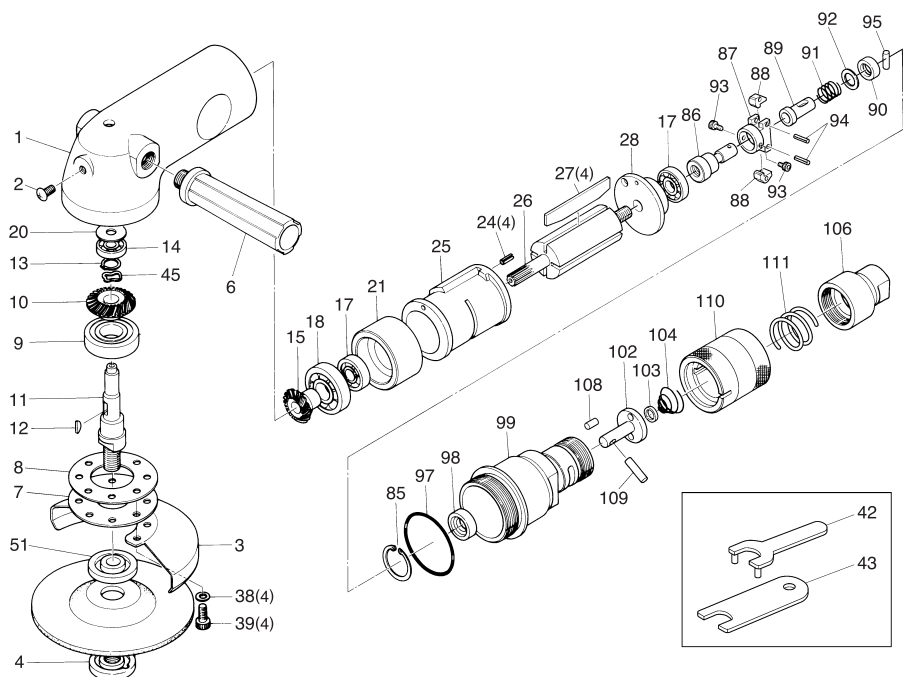


部品分解図

SP-1254G

100φmmディスクグラインダー
(ロータリースイッチタイプ)



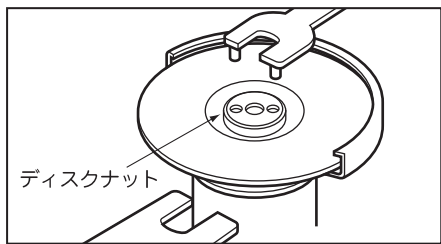
パーツリスト

番号	パーツNo.	名称	個数
1	1254G-01	ボディ	1
2	1254G-02	スクリュー	1
3	1254G-03	ディスクカバー	1
4	1254G-04	ディスクナット	1
6	1254G-06	デッドハンドル	1
7	1254G-07	リテーナー	1
8	1254G-08	ガスケット	1
9	1254G-09	ベアリング	1
10	1254G-10	ベベルギア	1
11	1254G-11	ギアシャフト	1
12	1254G-12	キー	1
13	1254G-13	リテーナーリング	1
14	1254G-14	ベアリング	1
15	1254G-15	ピニオンギア	1
17	1254G-17	ベアリング	2
18	1254G-18	ベアリング	1
20	1254G-20	スペーサー	1
21	1254G-21	フロントプレート	1
24	1254G-24	スプリングピン	4
25	1254G-25	シリンダー	1
26	1254G-26	ローター	1
27	1254G-27	ローターブレード	4
28	1254G-28	リアケース	1
38	1254G-38	ワッシャー	4
39	1254G-39	スクリュー	4
42	1254G-42	ディスクレンチ	1
43	1254G-43	ストップスパナ	1
45	1254G-45	ウェブワッシャー	1
51	1254G-51	ディスクレシーバー	1
85	1254G-85	スナップリング	1
86	1254G-86	カバナーシャフト	1
87	1254G-87	カバナー	1
88	1254G-88	ベンドラム	2
89	1254G-89	カバナースリーブ	1
90	1254G-90	ワッシャー	1
91	1254G-91	アジャストスプリング	1
92	1254G-92	アジャストリング	1
93	1254G-93	セットスクリュー	2
94	1254G-94	スプリングピン	2
95	1254G-95	ピン	1
97	1254G-97	オーリング	1
98	1254G-98	バルブシート	1
99	1254G-99	バルブハウジング	1
102	1254G-102	ロータリーバルブ	1
103	1254G-103	ワッシャー	1
104	1254G-104	バルブスプリング	1
106	1254G-106	インレットブッシング	1
108	1254G-108	ロックピン	1
109	1254G-109	バルブピン	1
110	1254G-110	ロータリースイッチ	1
111	1254G-111	ハンドルスプリング	1

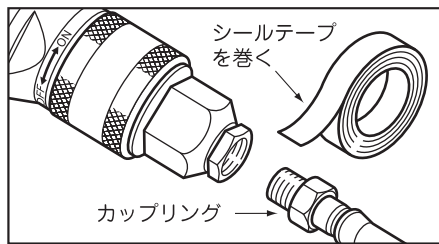
改良のため、仕様を変更する場合があります。

ご使用方法 SP-1254G

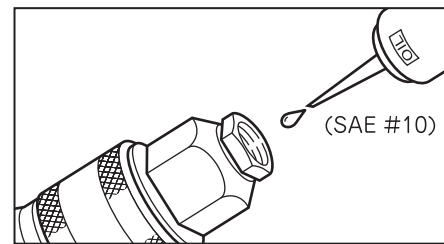
1. エアホースをつなく前にディスクナットを外し、砥石を装着して下さい。装着したら、軸にストップスパナをかけ、ディスクナットをディスクスパナでしっかり締め付けて下さい。



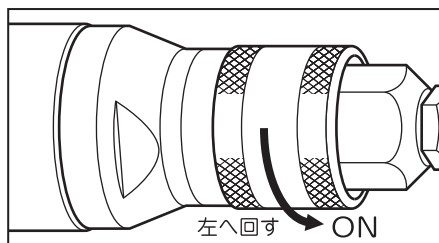
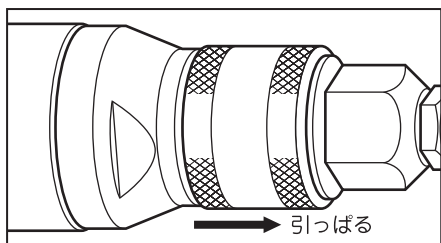
2. カップリングをエア取入口に取り付けて下さい。カップリングのネジ部にシールを巻き付け、エア漏れのないようにエア取入口にしっかりと取り付けて下さい。



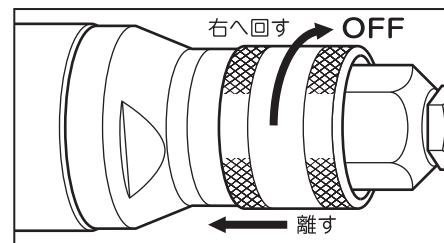
3. 作動前にエア取入口より、スピンドル油がタービンオイルを数滴入れて、軽くならし運転を行い、可動部に油をなじませて下さい。



4. ロータリースイッチを引っ張りながら、左（時計反対回り）へ、回し離すとスタートし、回転状態のままロックされます。
(△警告：スイッチを入れると回転状態のままとなりますので、お取扱いには十分注意して下さい。)



6. ロータリースイッチを右へ回しながら、離すとロックが解除となり“OFF”になります。



SP-1254G ⚠ 取扱上のご注意

- 絶対に12,000回転以上で使用しないで下さい。
(△警告：この製品には回転数を制御する安全ガバナー機構がついていますが、高圧で作業しますと設定回転数も越えますのでご注意ください。)
- 砥石はしっかりと装着して下さい。
- 絶対にディスクカバーを外さないで下さい。
- 砥石の交換はエアホースを外して行って下さい。
- 100φmm×穴径15mmの砥石以外は絶対に装着しないで下さい。
- 回転中の砥石には絶対に触れないで下さい。
- 多少の振動を伴いますので、なるべく連続作業は避け、休憩しながら行って下さい。